

# SHOWA GAKUIN



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171-5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第23号

2016.12.21(水)



「桜和祭」としてスタートをして、3年目となる昭和学院中学校・高等学校の文化祭が、10月1日(土)、2日(日)の2日間開催されました。初日は小雨でしたが、2日目の日曜日(公開日)は見事に晴れ上がり、絶好の文化祭日和となりました。来場者も約4000人で大盛況でした。また生徒によるポスター制作も3年目となり、今年は3名の作品が選ばれ、それぞれがポスターの表紙、及びパンフレットの表裏を飾りました。さて、今年の桜和祭のスローガンは「黄金時代～最も盛んな俺たち～」。文武両道を目指す昭和学院の生徒一人ひとりには個性があり、それぞれが異なった能力を持っています。このスローガンには生徒各自がそれぞれの場所で、その持っている力を大いに発揮をして欲しい、という願いが込められています。その願い通りに、明るく活気に満ちた生徒主体の、昭和学院らしさを感じさせる文化祭となりました。

毎年、中学生の協力で作成しているオブジェは、「未来」をテーマに中学校全生徒の協力によって作られました。美術部の壁画作品はダリの「記憶の固執の崩壊」で、エントランスホールに飾られました。また、各文化部では日頃の研究や活動の成果として充実した発表が見られました。メインアリーナでは吹奏楽部の心躍るような演奏や毎年好評のダンス部、バトン部などの明るく元気のある、また優雅な演技発表と、夏のインターハイで団体準優勝を果たした新体操部の演技などが行われ、多くの来場者を魅了しました。そして「We are the one」を共通テーマにした中学校の各会場では、展示を楽しむ子供連れの来場者などであふれていました。高校1年生はお化け屋敷や宝探しなど



▲ 茶道部によるお手前

各クラスのアイデア満載の楽しい活気に満ちた企画となり、教室の前には行列ができるほどでした。高校2年生は模擬店、縁日、フードコートを開店し、多彩なメニューは売り切れが出るほど好評でした。後夜祭では本校の中学高校生だけの参加でしたが、多くの生徒たちが生徒会企画のイベント(男装女装コンテストや大抽選会など)を楽しんでいました。明るく活気あふれた3年目の桜和祭は、多くの生徒たちが踊るディズニー・ユーロビートで盛り上がり、幕を閉じました。平成28年度昭和学院中学高等学校の「桜和祭」にご来場いただいた多くの方々、誠にありがとうございました。来年度もぜひ、楽しみにしててください。



▲ にぎわう縁日広場

# SHOWA GAKUIN

## 海外教育研修 in Canada

本校でのホームステイは今回で第33回目を迎え、これまでに多くの生徒をアメリカやニュージーランド、カナダへ送り出し、生徒たちは英語への興味・関心を高めて帰国してきている。

今年度の海外教育研修は、2016年7月9日(土)に伊藤記念ホールにて参加生徒とその保護者と共に結団式が行われ、7月21日(木)に羽田空港から21時50分発全日空NH116便で一路バンクーバー国際空港へ向けて出発した。到着後、貸切バスで郊外のラングレーにある教会まで行き、そこでA B班とも生徒は順にホストファミリーのもとに分かれ、それぞれのホームステイが始まった。

翌日より毎朝カナダ国歌と日本国歌を歌い、午前中は英語の授業、午後は英語を活用し観光やスポーツ・異文化体験等を通じてのアクティビティーが実施された。生徒たちの順応する力は素晴らしく、活動を手伝ってくれる同世代のパディーともすぐに打ち解け、また、緊張していた表情も1週間後には楽しそうな表情へと一変していた。

慣れない環境の中で『自分のことは自分でする。』というカナダスタイルを身に付け、日々奮闘していた。特に帰宅後は、英語ばかりで



▲バンクーバーを背景にスタンレー・パークにて(A班)

日本語を使うことはなく常に辞書を持ち歩き、必死にコミュニケーションを取ろうと努力していた。生徒たちはこのよう



▲バンクーバー国際空港にて(A・B班)

な経験を通して、「海外でも生活ができる」という自信とたくましさを身に付けていった。また、食生活や習慣の違いでもカナダの良さを体験し、改めて日本の良さを再認識できたのではないだろうか。

これらの貴重な経験を生かして是非自分の将来に役立ててもらいたいと思う。



▲スタンレー・パークのトーテム・ポール前にて(B班)

### 合唱コンクール

11月18日(金)に合唱コンクールが開催された。高校1・2年生は午前中にメインアリーナにて、中学生は午後伊藤記念ホールにて練習の成果を存分に発揮した。「年々レベルが上がっていますね。」という感想が聞かれるなか、心に染み渡る歌声が会場に響いた。

結果は以下ようになった。心をつにじた体験を今後の学校生活に活かしてほしい。

中学校	1年 第1位 1の3	高等学校	第1位 2H
	2年 第1位 2の2		第2位 1I
	第2位 2の1		第3位 1F
	3年 第1位 3の2		奨励賞 1A 1J
	第2位 3の4		2D 2J
	ブラボー賞 3の2		ブラボー賞 2E

中学校は、変声期を考慮した採点として、各学年ごとに賞が出されました。なお、ブラボー賞は、投票によるものです。



▲中学校3年 第1位 3の2「空駆ける天馬」

### 芸術鑑賞会



▲AUN-Jクラシックオーケストラによる演奏

10月12日(水)と10月13日(木)の両日にわたって、伊藤記念ホールで芸術鑑賞会が行われた。今回は和楽器の演奏者ユニットAUN-J(あうんじえい)クラシックオーケストラによる邦楽クラシックコンサートを観賞した。

AUN-Jは、和太鼓・三味線・琴・篠笛・鳴り物、通常一緒に演奏されることのない和楽器を再編成し、独自の音楽性を追求する、2008年に結成された和楽器のみのユニットだ。当日は2日間、午前と午後2時間ずつ計4回の公演を行っていただいた。いずれの回も和楽器とは思えない躍動的なリズムに乗って会場のボルテージも上がり、時間の都合で本来予定していなかったアンコールも起こるほどだった。演奏者と生徒が一体となり、芸術の秋にふさわしい楽しい時間を過ごすことができた。

# SHOWA GAKUIN

## Rio2016 リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック出場 ~活躍する卒業生~

### 新体操 横田葵子さん H28 3月卒業



オリンピック報告会

今年の夏ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催された。この大会には我が昭学院の卒業生が出場していた。その活躍を、手に汗握ってテレビで見ているという人もいるだろう。大会も終わった9月16日、昭学院にその卒業生が報告に来て下さった。新体操ナショナルチーム、フェアリージャパンの横田葵子さんである。横田さんは今年の3月に昭学院を卒業されている。ナショナルチームのユニフォームである赤いブレザーで半年ぶりに本校に来られた。

報告会はメインアリーナで行われた。フェアリージャパンは今大会で8位に入賞された。その賞状も披露された。横田さんは、応援に対する謝辞、チームでの苦労などを話してくださいました。チームに選ばれるのは日程ギリギリのことで、その間ドキドキしながら待ったこと、高校2年生からはナショナルチームの練習のためにあまり登校できなくなってしまったが、登校したときには諸先生方や同級生にとってもよくしてもらったこと、後輩へのエールなども語られた。

今回、改めて横田さんにお話を伺った。

Q.オリンピックに出場が決まったときのお気持ちはいかがでしたか。

A.オリンピック出場が決まったのは本当にオリンピックの直前で、いつものような理由でメンバーが変わるかわからなくて、本当に踊ると決まった時は嬉しかったです。

Q.オリンピックに出場されたときのお気持ちはいかがでしたか。

A.オリンピックに出ることができ、いつもの試合と同じだと思いがら練習していても、やっぱり4年に1度の最高の舞台のため、とても緊張しました。でも、あの舞台上で踊ることができて幸せでした。

Q.昭学院の生徒へのメッセージをお願いします。

A.これから沢山の試練があると思いますが、諦めず最後までやりきりましょう。

Q.今後の具体的な目標を教えてください。

A.今後の目標はまずは試合に出られる5人に選ばれることです。一つ一つの試合で自分達のベストを尽くし、東京オリンピックでメダルがとれるように頑張っていきたいです。

横田さんが今後もさらなる飛躍をされることを期待している。世界で活躍されている先輩を持つということはあるようで案外ない。昭学院の一員としてそのことを誇りに思い、それぞれがそれぞれのフィールドで日々の努力を続けていこう。



フェアリージャパンの演技

### 中2 職場体験

11月24日(木)と25日(金)に中学2年生は、54年ぶりの11月の初雪の降りしきる中、職場体験学習に参加した。「職業調べ学習」「卒業生のお話を聞く会」などのキャリア教育の一環として毎年実施されているものである。7月から希望調査などの準備を行い、事業所ごとのリーダー決定、事前の連絡・訪問などに取り組み、体験当日を迎えた。普段経験できない専門的な職業を中心に、働くことの充実感や楽しさを実感することができた。また企業見学に参加した生徒は、大手企業の内部の見学・体験学習を通して、企業の仕組みを理解した。今回の職場体験学習によって、働く社会人の姿を直接目にするるとともに、職業意識を高めることができた2日間であった。



▲ 真剣な眼差し(市川警察署にて)

### 水泳 森下友紀さん H27 3月卒業



昭学院のプールにて

リオデジャネイロパラリンピック水泳競技に、本校の卒業生である森下友紀さんが出場された。彼女は昨年本校を卒業され、20歳の誕生日を迎えたばかりだ。10月26日に本校で開催されたパラリンピック報告会では、少し緊張された様子だったが高校時代と変わらぬ笑顔で、「やればできる」と信じて頑張り、努力することの大切さを語って下さった。

森下さんに、次のような質問に答えていただいた。

Q.パラリンピック出場が決まったときのお気持ちはいかがでしたか。

A.まさか選ばれるとは思ってなかったので、とても嬉しかったです。と同時に、結果を出さなければならない緊張もありました。

Q.パラリンピックに出場して泳いだ感想はいかがでしたか。

A.まず感動しました。他の国際試合とは全く別物でした。目標としている選手たちの目が本気で、すごい試合だと感じました。そして、世界と自分の実力の差を痛感しました。

Q.入賞を果たしたときのお気持ちをお聞かせ下さい。

A.リレーは程よい緊張の中、楽しく泳げました。その結果、日本新記録を出せたことは嬉しく、達成感もありました。

Q.後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

A.部活と勉強の両立は、私も大変でしたが全力でいけばできると思っています。お互い頑張りましょう！

Q.今後の目標を教えてください。

A.東京パラリンピックに出場し、そしてメダルをとることです。

本日は人見知りだとおっしゃる森下さんだが、とてもそうは感じられない。水泳を通してたくさんの人と関わるようになり、色々な意味で自分を変えることが出来たからだそう。なつかしい昭学院のプールに立ち、水泳に感謝の気持ちを表された森下さん、今後の大きな飛躍が期待される。

《出場種目》	50m自由形	100mバタフライ	第10位
	100m自由形	4×100mフリーリレー	第6位
	400m自由形	4×100mメドレーリレー	第7位
	200m個人メドレー		

### 高2 大学・学部説明会

10月24日、25日、26日、27日、11月14日の放課後、東京理科大・中央大・法政大・明治大・青山学院大の計5大学における大学・学部説明会が高校2年生の希望者延べ254名を対象に行われた。1学期に学部・学科説明会が行われたが、その時に参加できなかったMARCH以上の学校を招き、会議室にて各学校50分間ずつ説明会を実施した。事前に担任の先生からこの会の目的や参加についての意義などの指導があり、生徒は興味関心のある学校を事前に選んで来ていた。真剣な眼差しで話を聞き、会終了後には個別相談などもしていた。3学期にはさらに希望する分野を1つに絞り模擬授業を体験する進路ガイダンスが計画されている。



▲ 明治大学による説明

# SHOWA GAKUIN

## インターハイ「2016 情熱疾走 中国総体 ～美しく咲け 君の笑顔と努力の華～」

今年のインターハイは、7月28日から8月20日にかけて広島県ほかで開催された。

本学院からは今大会も多くの選手が出場し、活躍をした。特に新体操部の団体準優勝、個人第3位、水泳部が個人バタフライで2位という結果を始め、数々の輝かしい成果を挙げた。9月1日には入賞報告会がなされ、全校生徒が祝福の拍手で迎える中、賞状の伝達が行われた。

### 【Voice】

#### 新体操部 塩屋 恵美子先生

個人では、石井(クラブ・リボン)が体の小ささを感じさせない、大きく魅せる演技で3位に入り、チームに勢いを与えてくれました。団体ではメンバー全員が攻めの姿勢を貫き、会場を大いに沸かせる中、ノーミスで演技を終えることができました。演技内容は全く悔いの無いものでしたが、トップまで0.034点というわずかな差で優勝を逃し、悔しい思いも同時に味わった準優勝でした。次の大会でリベンジできるよう、さらに磨きをかけていきたいです。



▲ 新体操部 インターハイでの演技

### 【Voice】

#### 水泳部 関谷 直樹先生

昨年のインターハイでは5位、国体や新人戦では1分の壁を切るなど、本人の努力が成果に結びついてきました。一方で今年の関東では後輩の選手に負け、勝つことの難しさも学んだと思います。この悔しさが、必ず勝ちたいという強い意志につながりました。本番では予選から積極的なレースをし、決勝では集中した良い状態で前半から前に出て、昨年度よりも増した後半の粘り強さを見せ、2位に入ることができました。



▲ 水泳部 個人バタフライ2位徳永美緒

## 全国中学 平成28年度全国中学校総合体育大会

8月に長野県ほかで全国中学校体育大会が行われた。本校からは新体操部、ソフトテニス部、水泳部が出場し、新体操部が第3位という結果であった。

### 【Voice】

#### 新体操部 塩屋 恵美子先生

あいさつや、メリハリのある行動、周囲への気配り、感謝の気持ちを持つことなど、日頃からしっかりと意識させていることが、演技への心構えや真摯に取り組む姿勢につながっていました。演技中バランスを崩す場面はありましたが、悔いのない演技ができたと思います。



▲ 新体操部 全中出場メンバー  
(宮田 侑莉亜、堀池 美文、  
瀬戸崎 星菜、吉岡 珠里、  
渡邊 佳穂)

## 第71回 国民体育大会 (2016 希望郷いわて大会)

9月4日から10月11日に行われた第71回国民体育大会に、本校からは千葉県代表として、新体操部、水泳部、バスケットボール部女子、ソフトテニス部女子、体操部が出場した。新体操部は個人・団体・総合とも見事優勝に輝いた。水泳(競泳)では、少年女子4×100mのフリーリレー及びメドレーリレーに千葉県チームの一員として本校生徒が出場し、メドレーリレーでは見事第1位、フリーリレーでも第2位という素晴らしい結果を果たした。ソフトテニス部女子は、本学院高校を主体とする千葉県チームが4位に輝くなど、今大会も数多くの成果を挙げた。

### 【Voice】

#### 新体操部 塩屋 恵美子先生

選抜、インターハイともに準優勝だったことを受け、今度こそは優勝を勝ち取りに行くという気持ちを強く持って臨ませた大会でした。個人の演技では石井(フープ)、堂園(ボール)、吉越(クラブ)、志間(リボン)が全員ノーミスの演技をし、初日トップに立ちました。この流れをつかみ、団体の演技もノーミス圧巻の演技で他のチームを突き放して完全優勝を果たすことができました。選手の躍動感、会場との一体感、得点とも最高の大会となり、念願だった金メダルを選手に掛けてあげることができました。来年はルール改定があるので、ルールを熟知し、音の響きや曲の世界観・色彩・演技構成など、今回に負けない演技ができるよう、頑張っていきたいと思っています。



### 【Voice】

#### 水泳部 関谷 直樹先生

国体では4×100mフリーリレー、4×100mメドレーリレーの2つの種目に徳永が参加をしました。フリーリレーでは2位という結果でしたが、この結果に満足せず、なんとしても優勝をとという思いで翌日のメドレーリレーに臨みました。その結果一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たし、優勝を勝ち取ってくれました。来年度はリレーだけでなく、個人競技でも出場を果たし、優勝するために、選手と監督が一丸となって努力していきたいです。

### 【Voice】

#### ソフトテニス部 高橋 章典先生

国体ではシングルの対応に苦戦しましたが、1回戦、2回戦とこれまで培った自分達のゲーム展開で勝利することができました。準々決勝は強豪京都との対戦でしたが、事前に立てた作戦と選手の思い切りのよさが合わさり2-0で勝利しました。決勝まであと一歩となった準決勝では、広島県と対戦し、1-2で敗れました。その後の三重県との3位決めにも敗れ、結果は第4位でした。選手はよく頑張ったと思います。再び、全国大会の決勝の舞台に立ち、勝負できるチームを作れるよう日々精進していきたいです。



# SHOWA GAKUIN

## 奨学会 ●●● 文化教養部主催 第4回文化講演会 ●●●



▲ 講演される三屋裕子先生

11月26日(土)午前10時より、文化講演会が開催された。お招きしたのは元全日本バレーボール選手である三屋裕子先生である。三屋先生は様々なスポーツ協会の理事を務め、スポーツプロデューサーとしても活躍され、コメンテーターとしてテレビ番組等にも出演なさっている。

「健やかな子どもを育む」～こころとからだを健康に～という講演テーマで1時間半にわたって有意義で興味深い内容のお話をしてくださいました。ロサンゼルスオリンピック銅メダリストというバレーボールの経歴をお持ちだが、中学時代の恩師からの教えが今でも一番心に残っているという。「バレーボールが上手くなりたければ思いやりを持つこと。人から打ちやすいパスをもらうのではなく、人に打ちやすいパスをあげられることが大切。バレーボールは心を飛ばすことだ。」という感謝と思いやりの気持ちという教えを受け、その感謝と思いやりというのは、人生の軸にもなっているようだ。

また、失敗を恐れないこと、というお話もされた。「失敗から逃げると何も得ることはできない。失敗し、そこから何を学ぶのかということが大事であり、失敗は次に何をすればよいのかを教えてくれる。そこから自分を信じることができる。自分を信じるということは自分に自信がつくということ。自信がつくように周囲が声をかけてあげることが肝要である。」と。さらに、勝負についてのお話もあった。「多くの勝負は自己との戦いであり、自己との戦いに負けず、そこに勝った者が他との勝負に挑める。子どもたちは各々身の丈にあった自己との戦いに日々挑んでいる。転んでも自分で立ちあがれる力を育ててあげたい。」ということである。

三屋先生の爽やかな語り口には、これまでのご自身の努力と経験が裏打ちされた確たる信念と、子どもたちへの温かなまなざしが感じられた。



▲ 花束贈呈

## 千葉県私学振興大会



10月8日(土)午後2時より、幕張メッセ国際会議場において、第13回千葉県私学振興大会が開催された。当日は1,500名を越える多くの関係者が会場につめかけた。本学院からも、奨学会役員の方々や文化教養部を中心とする保護者の方々や教職員が参加した。

開会の辞に続き、主催者代表の千葉県私立中学高等学校協会大羽克弘会長より、私立高校をめぐる情勢について報告があった。かつて本県の私学助成は、長い間全国でも低い水準に置かれてきたが、平成21年度から国の助成措置額が確保されるようになり、さらに高校においては県単独の上乗せ分が設定されるようになった。この結果、平成28年度私学助成は、47都道府県中、中学校が第10位、高校は第20位と躍進している。

大会の最後に、強く早期実現を要望する4項目を含む「大会決議(案)」が全会一致で了承され閉会となった。私立学校が「建学の精神」に基づき、私学ならではの教育を行える十分な環境が整えられるよう、保護者の皆さまのさらなるご支援をお願いする次第である。

## バス研修旅行

11月17日(木)秋晴れの朝、学校長、奨学会会長はじめ39名の保護者の参加による研修バス旅行がスタートした。首都高速湾岸道路は渋滞もなく、予定通り横浜のニュースパーク(日本新聞博物館)に到着し見学に移る。新聞が日本に誕生してから現代までの歴史や製作工程を、実物、映像、レプリカなどで紹介する新聞専門の博物館。新聞に係わってきた人々の熱い思いが伝わってくる興味深い展示であった。昼食は中華街で飲茶料理をいただき、その後、横浜の街を散策し鎌倉の鶴岡八幡宮に向かった。源頼朝ゆかりの武士の守護神として有名な神社であり、出世運や安産祈願ができることでも知られている。また、境内には強風で倒れた大銀杏が、新芽を出して再生の力があると人気の場所になっている。平日にもかかわらず多くの参拝者で溢れていた。歴史や文化に触れ、懇親を深めることのできた有意義な研修であった。



▲ 日本新聞博物館にて

# SHOWA GAKUIN

## 中高等学校説明会

2学期の学校説明会は9月10日の中学校に始まり、12月まで中学、高校それぞれ5回ずつ実施した。中学では模擬受験体験と解説を実施し、好評であった。

中学・高校ともに来校者は昨年を大幅に上回り、本校への関心の高さがうかがえた。施設見学に大勢の方々が参加され、入試相談も満席で、熱心に相談する受験生の姿が印象的だった。



▲ 高校説明会の様子

## 中学校推薦入試

12月1日(木)朝、緊張した表情の小学6年生が本校の中学受験のために集合した。塾の先生や保護者に励まされ、1人で試験室に向かう姿には、かわいらしさと緊張感が入り混じていた。第1志望者の入試であり、受験生は真剣だ。国語と算数の2科、または社会、理科を含めた4科と面接にチャレンジした。翌日10時からの合格発表では、すでにホームページ上の発表で結果がわかっている受験生も、掲示板に掲載された自分の受験番号に新たな感動を受け、輝く笑顔で合格通知書を受け取っていた。



## 平成29年度 入試要項

中学校	第1回 一般入試	第2回 一般入試	マイプレゼン テーション入試	アドバンス トチャレンジ入試 特進(特待生)入試
募集人数	20名	10名	10名	20名
入試日	1月20日(金)	1月21日(土)		1月25日(水)
入試科目	2科 国語・算数 各50分	2科 国語・算数 各50分	①自己アピール (自己表現文・プレゼン) ②面接	2科 国語・算数 各50分 4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分
合格発表	1月21日(土)	1月22日(日)		1月26日(木)
入学手続	平成29年 1月21日(土)~1月28日(土)	平成29年1月22日(日)~1月28日(土)		平成29年 1月26日(木)~1月28日(土)

高等学校	前期選抜試験					後期選抜試験	
募集人数	(男女)196名					(男女)20名	
NET出願期間	平成28年12月22日(木)~平成29年1月10日(火)					平成29年1月18日(水)~1月27日(金)	
志望	第1志望		併願			第1志望	併願
入試	A推薦	C推薦	B推薦		特進(特待生)入試	一般入試	
特進(特待生) チャレンジ	なし	有り	なし	なし	有り	なし	
入試日時	1月17日(火) 午前9時	1月17日(火) 午前9時	1月17日(火)又は 1月18日(水) 両日とも午前9時		1月18日(水) 午前9時	2月5日(日) 午前9時	
入試科目	面接(個人)	特進(特待生) 入試に同じ	①一般常識試験 (40分) ②面接(個人)	①「英・数・国」 1科目(50分) 英語リスニング テストあり ②面接(個人)	特進(特待生) 入試に同じ	①「英・数・国」 1科目(50分) 英語リスニング テストあり ②面接(個人)	①「英・数・国」 1科目(50分) 英語リスニングテストなし ②面接(個人)
合格発表	1月18日(水) 午前10時	1月18日(水) 午前10時	1月18日(水)又は 1月19日(木) 両日とも午前10時		1月19日(木) 午前10時	2月6日(月)午前10時	
入学手続等	平成29年1月18日(水)~平成29年1月23日(月)					平成29年2月6日(月)~2月9日(木)	

※試験について詳しくは要項をご覧ください。

【お問合せ】 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-17-1 TEL047-323-4171~5 本部事務局